

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	なかすじ保育園	施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成 31 年 2 月 13 日

総 評	<p>なかすじ保育園は、平成20年4月に開設された定員60名の新しい保育園です。舞鶴市内では世帯数が増加している数少ない地域にあり、目の前にある小学校の生徒数も舞鶴市内で最も多い人数となっています。設置法人である社会福祉法人瑞光福祉会は70年以上の歴史ある法人であり、そこで培われた運営基盤を活用しながらも、地域性などに配慮した独自の運営を行い、地域の子育て家庭を支える施設となっています。</p> <p>保育の基本方針に「たくましい身体と豊かな心を育みます。健康で明るい子 みんなと遊べる子 規律を守る子」を掲げ、子ども主体の保育実践に取り組んでいます。小規模園ならではの園全体で一人一人の子どもの成長を見守るアットホームな雰囲気があり、送迎時の保護者とのコミュニケーションの様子からも、保護者の園への信頼が伺えます。</p> <p>隣には学童保育専用の施設も設置し、卒園児を中心に小学生の放課後を見守ってほしいという声に答えています。また、地域の行事への参加や、地域の方の保育園事業への協力など、新設園として地域に溶け込もうと努めた結果が、多くの協力関係を生んでいます。</p> <p>園長は、理想とする保育や園運営を、主任と協働して進めようと努めています。職員に寄り添った運営を心がけ、それが子どもや保護者により良い保育として還元されるよう配慮しています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 親子体操教室を月 2 回、地域の体操教室を行っている方をお願いしたり、子どもフラダンス教室も月 2~3 回、地域の方の協力を得るなど、園の資源を有効に活用しています。また、地域の方々による農園管理、川遊び、お餅つき手伝いなどの保育への協力をしてもらっています。地域行事への参加としては、子育てステーション事業、公民館での子育て教室、地域ふれあいまつりへの絵画出展、地域敬老会、区民運動会での園児による鼓隊披露などにも取り組んでいます。 保育者が正しい言葉づかいをすることを心掛けています。制作の場面では、一人ひとりの作業スピードを尊重し、「ゆっくりでいいよ」と子どもがじっくり取り組めるような言葉掛けを行っています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 遵守すべき法令等について、口頭で周知を図るだけでなく、必要なものについてはリスト化するなど職員が把握しやすいよう工夫されるとより良いでしょう。 現在、苦情に対する記録はありませんが、細かな内容でも今後の園運営の中で記録として必要なものは残すようにされるとより良いでしょう。 定期的に管理者と職員による個別面談の機会を設けるとより良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	なかすじ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成31年 2月13日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	頁番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	b
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	c	b
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	b
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	b
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	a
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c	b

[自由記述欄]

・保育の理念、基本方針、目標が明文化されており、園の冊子やパンフレットに明示されています。理念や保育方針、目標については、管理者と職員が話し合い、保育指針の改定と同時に、それに即して見直しを図っています。今後は、保護者会等で資料をもとに説明されたり、園内に掲示をするなど周知に努められるとより良いでしょう。

・経理内容など資金面についての内容を職員に知らせるなど、事業経営を取り巻く環境等について職員にも把握してもらえるよう取り組んでいます。また職員処遇に関しては法人で統一されています。今後は、現在把握されている地域の福祉ニーズについて、定期的に同じ内容の地域の子どもを含む人口動態や周辺データを収集し、経営環境や課題について定点把握出来るよう工夫されるとより良いでしょう。経営課題については、外部の会計事務所と連携し把握に努め、抑えられる経費を抽出するなど具体的な取組を進めています。

・法人の単年度の計画が策定されています。今後は、中・長期計画を計画の裏付けとなる収支計画と共に策定し、その内容を職員と共有し、さらに保護者等に周知されるとより良いでしょう。単年度計画については、その実施状況の評価・見直しを組織的に実施し、職員の意見を運営に反映させています。

・園長・主任を中心に保育の質向上に向けて会議等で話し合い、園の方針に沿った保育となるよう取り組んでいます。職員からの意見も積極的に保育に取り入れており、小規模園ならではのアットホームな保育が実践されています。今後は、保育の振り返りや評価・反省から抽出された課題に取り組めるよう年に1回以上保育所として自己評価を行うとより良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	c	b
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	c	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	c	b
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	c	a
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	c	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	c	b
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	b
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c
	18		② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	c	b
	19		③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	a
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	a	
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	c	b
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	a
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	a
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	a
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c	a

[自由記述欄]

・園長の役割と責任は職務分担表に加え、各会議に出来る限り出席し、保育に対する思いを伝えていきます。職員に寄り添った形でコミュニケーションを大切にしておき、保育内容についても責任を持って改善に努めています。今後は、遵守すべき法令等について口頭で周知を図るだけでなく、必要なものについてはリスト化するなど職員が把握しやすいよう工夫されるとより良いでしょう。経営内容や施策等についての内容を把握し、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて分析し、改善に取り組んでいます。

・全国保育士倫理綱領を求める人材像とし、その周知・啓発に努めています。現在、職員の育成についての具体的な計画は経験値に基づいて実施しています。今後は文書化するなど育成に関する方針や計画を確立されるとより良いでしょう。日々の職員間の連携を大切にしていますが、今後は、定期的に管理者と職員による個別面談の機会を設けるとより良いでしょう。

・職員一人一人の研修の機会を確保し、少人数の中で出来る限り参加できるように配慮しており、京都府保育協会のキャリアアップ研修を中心に参加しています。今後は、それらの階層別研修や職種別研修などの計画に沿った個別の研修計画を策定されるとより良いでしょう。実習生の受入れについてはマニュアルを整備し、適切に取り組んでいます。

・保育内容や財務諸表などの情報をホームページで公表するなど、適切に公開しています。法人の運営内容は、外部の専門家によるチェックを実施し、健全な経営に努めています。公認会計士等による事業や財務の監査は実施していません。

・学童保育の施設を隣に建て、一年生を50人預かっています。目の前が小学校であり卒園児の放課後保育の要望に応える形で実施しています。また、親子体操教室を月2回、地域の体操教室を行っている方にお願ひしたり、子どもフラダンス教室も月2～3回、地域の方の協力を得るなど、園の資源を有効に活用しています。また、地域の方々による農園管理、川遊び、お餅つき手伝いなどの保育への協力をしてもらっています。地域行事への参加としては、子育てステーション事業、公民館での子育て教室、地域ふれあいまつりへの絵画出展、地域敬老会、区民運動会での園児による鼓隊披露などにも取り組んでいます。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	c	a	
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	c	b	
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	a	
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	a	
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	c	b	
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	b	
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	c	b	
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	b	
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	b	
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	a	
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	c	b	
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	c	b	
	Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	b
			41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c	b
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	c	a	
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	a	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	b	
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	c	b	

[自由記述欄]

・全国保育士倫理綱領の職員への周知・啓発に取り組むなど、管理者から法人の理念や保育観を踏まえたアドバイスが職員の質問や相談に対して送られ、子どもたちを尊重した教育・保育について一貫した理解を持って実践出来るよう取り組んでいます。

・個人情報保護規程、個人情報取り扱いマニュアルを作成したところであり、今後、より利用者のプライバシーに配慮した職員教育を実施出来るよう取り組んでいます。

・自園の情報や理念・保育指針などを行政発行の情報紙やリーフレット、ホームページに掲載しています。園児の転園時には保育要録を転園先に送付しています。今後は、その手順と引継ぎ文書を定めるとより良いでしょう。

・苦情解決の仕組みを整備しています。現在、苦情に対する記録はありませんが、細かな内容でも今後の園運営の中で記録として必要なものは残すようにされるとより良いでしょう。保護者アンケートは行事ごとに実施し、その内容はまとめて全保護者にフィードバックしています。保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を選べることをわかりやすく説明した文書を作成されるとより良いでしょう。

・感染症対策についてのマニュアルが整備され、周知を図っています。感染症が発生した場合には園内掲示と共に手紙とメールで保護者へ周知しています。災害時における実際に即したマニュアルや水害避難場所の設定や避難経路計画も整備しており、園児への災害時対応訓練も実施しています。今後は、食料や備品等の備蓄を行い、管理者を決めて整備されるとより良いでしょう。また、不審者侵入時の対応を警察等との連携のもとで研修を実施されるとより良いでしょう。

・指導計画は全体的な計画に基づき、年間、月間、週案と策定し、それらの評価・見直しは各期に1回ずつ行っています。今後は、それらの記録内容が職員によって書き方や内容に差異が生じないように工夫されるとより良いでしょう。また、子どもの記録について適切に管理していますが、今後は、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めるとより良いでしょう。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
A-1 保育内容	A-1-1 (1) 保育課程の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	c	a	
		A-1-1 (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	b
			48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	a
			49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b	a
			50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	a
			51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
			52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
			53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
			54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
			55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
	56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	a		
	A-1-1 (3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	a	
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	a	
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	a	
	A-1-1 (4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b	a	
61		② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	b	a		

【自由記述欄】

・全体的な計画は、保育所保育指針等の関係法令に基づき、入園から就学に至るまで、乳幼児期の発達過程に沿って子どもの主体的な体験や、それに応じた援助等が記載され、長期的な見通しをもったものとなっています。また、地域の方々による保育協力（農園管理、川遊び、お餅つき手伝いなど）、地域行事への参加（子育てステーション、公民館での子育て教室、地域ふれあいまつりへの絵画出展、地域敬老会、区民運動会への参加など）について記載があり、保育園と地域との関わりの方針が示され、地域の実態に即したものとなっています。

・生活にふさわしい場として子どもが安全に過ごすことのできる環境を整えています。玄関にはプランターに季節の花を植え、大きな水槽に子どもたちと獲った魚、ザリガニ、サケ等を子どもたちが飼育しています。設備や遊具などの物的環境、保育者や子どもなどの人的環境の充実に加え、今後は、保育室内に湿度計、温度計などを設置し、温度、湿度、採光、換気といった環境について、より充実を図るとより良いでしょう。

・保育者が正しい言葉づかいをすることを心掛けています。制作の場面では、一人ひとりの作業スピードを尊重し、「ゆっくりでいいよ」と子どもがじっくり取り組めるような言葉掛けを行っています。仲間と一緒に図鑑を読み、体の仕組みを理解する取り組みでは、あわてず一人一人のペースを大切に保育者が子どもたちに語り掛け、自由な発言を促し、みんなで意見を聞き、認め合う姿がありました。保育室内には絵カードを準備し、活動の移り変わりの動作について子どもが理解しやすいよう工夫しています。一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っています。

・乳児室を新たに設置し、乳児がゆっくりくつろいで過ごせる環境を整備しています。1・2歳児では、昼寝前のトイレ、着替えでは保育者がじっくりと子ども一人一人と関わる姿がありました。3歳以上児では、当番活動、製作などの活動時、子どもの発した言葉を保育者が拾い上げ、子どもの気持ちを代弁したり、子どもが理解できるように丁寧に伝える姿がありました。

・朝のおやつはチーズとフルーツを、夕方のおやつは手作りおやつを提供しています。園の農園で、イチゴや豆やいも等の種まきから収穫までを行い、給食やおやつに食材として用いています。5歳児は、当番活動で給食の盛り付けを行い、クッキングでジャガイモや玉ねぎなどの皮むきを行っています。また、各クラスでお米を炊き、炊飯器からご飯の臭いがするよう工夫するなど、食への興味関心を育てています。

・毎月、ルンビニ保育園となかすじ保育園と合同で給食会議を行い、子どもの嗜好・喫食状況を把握し、両園の反省点と今後の課題を話し合い共有し、給食の献立、味付け、切り方など改善を図っています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	a
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	① 保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	b
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	a

[自由記述欄]

・保護者とのコミュニケーションは、日々の送迎時における対話や連絡帳、面談などで実施しています。小規模園ならではの全職員が子どもや保護者と顔なじみであり、アットホームな雰囲気があります。親子バス遠足、給食試食会、運動会、作品展、おゆうぎ会などは、保護者が保育参加出来るよう配慮しています。年2回の保育参観と個人懇談を行うなど、保護者と園が直接関わる機会を多く設けています。また園での様子は、ドキュメンテーションを作成し、掲示するなど、保護者と保育内容について共有出来るよう取り組んでいます。

・個別の自己評価の書式があり、目標の成果、計画の達成、クラス運営の振り返り等の項目について、職員が自己評価を行い振り返れるよう取り組んでいます。